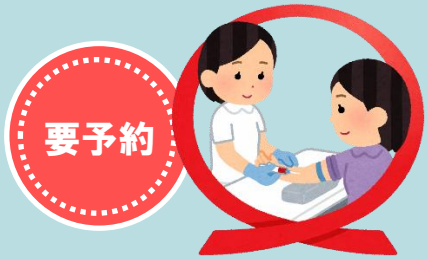
保健所では、性感染症の検査を無料・匿名で行っています。



◆性感染症の多くは治療できます。ただし、早期の段階で治療しなければ、合併症や後遺障害が残る可能性があるものもあり、**早期発見・早期治療が重要**です。
◆感染したかもと少しでも不安のある方は、まず保健所にご相談か、無料匿名検査を受診ください。

検査予約・相談先

保健所名	定例検査日時（要予約）	お問合せ先
鳥取市保健所	毎月第2・4月曜（祝日の場合は翌日） 午後1時～3時30分	☎ 0857-30-8533 ★WEB予約受付中！→
倉吉保健所	毎月第1・3木曜 午後2時30分～3時30分	☎ 0858-23-3145
米子保健所	毎月第2・4・5火曜 午後1時30分～3時30分	☎ 0859-31-9317

※検査予約・相談受付時間：平日午前8時30分～午後5時15分
※不安なことがある時のご相談も受け付けています。

検査内容　エイズ・梅毒・クラミジア

・感染の有無の判定をより確実なものとするために、感染の可能性が考えられる機会があってから、3か月経過後の検査をお勧めしています。
・気になる症状のある方は、医療機関の受診をお勧めします。

対　象

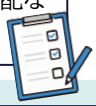
・検査を希望される方は、住所関係なくどなたでも受けられます。

検査の流れ

【受 付】
番号札をお渡しします。
氏名は伺いません。
保険証は不要です。

→

【問 診】
番号順に相談室へご案内し、検査の説明を行います。
希望する検査内容、心配なことをお聞きします。



→

【採 血】
希望される検査内容に応じた血液量の採血を行います。



→

【結果のお知らせ】
2週間後に再度保健所へお越しいただき、検査結果をお伝えします。



全国の保健所でも無料・匿名で検査が受けられます。
各保健所で検査内容や日時などは異なりますので、ホームページなどでご確認ください。
HIV検査相談マップ　https://www.hivkensa.com/

性感染症の正しい知識、知っていますか？

詳しくは裏面へ

性感染症の正しい知識、知っていますか？

◆性感染症は、感染しても比較的軽い症状にとどまる場合や無症状であることもあるため、治療に結びつかないこともあり、**気づかないまま他者に感染させてしまうこともあります。**



主な性感染症

梅毒（ばいどく）

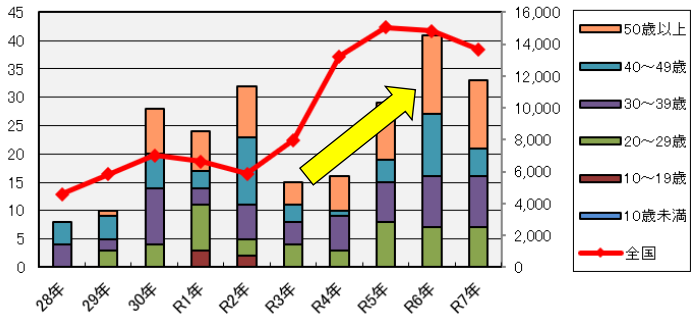
●鳥取県でも急増中！
妊娠中の感染は特に危険

令和7年は**鳥取県で33人**、**全国で13,662人**の感染が報告されています。感染者のうち約半数が、半年以内に風俗利用歴があった方でした。

妊娠・出産中に母子感染すると、死産や早産になったり、生まれてくる子どもに様々な先天異常などを引き起こす可能性があります。

【主な初期症状】
・感染から数週間後…性器・肛門・口などのしこりやできもの
・感染から数か月後…外陰部や肛門の腫瘤、
全身や手足の裏などの赤い発疹（バラ疹ともよばれる）

〈鳥取県の梅毒感染者数推移〉



出典：感染症発生動向調査（H27～R6）、感染症発生動向調査（R7）※暫定値

HIV・エイズ

●免疫力の低下で発症
潜伏期間が十数年に渡ることも

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染すると免疫力が低下し、**通常では感染を引き起こさないような病原体にも感染することがあります。**（HIVに感染し発症する病気の総称をエイズといいます。）

令和6年は全国で1,000人のHIV感染者・エイズ患者が報告されており、HIVに感染していたことを知らずに、発症して初めて気づいたというケースが、感染者・患者全体の約3割を占めています。
★早期に治療を開始し、適切な治療を続ければ、感染前とほとんど同じ生活を送ることが可能です。

【主な初期症状】急性期（感染後2～6週間）
発熱、リンパ節の腫れ、のどの痛み、皮疹、筋肉痛、頭痛、下痢等

クラミジア（性器クラミジア感染症）

●性感染症の中で最多
不妊症の原因になることも

鳥取県では感染者数の約6割が20代以下です。
感染しても症状が出ないことが多く、放置すると不妊症の原因になることもあります。

【主な症状】
男性…男性の半数が症状がない
おしっこをした時の軽い痛み、尿道からの膿、かゆみ等
女性…症状はほとんどない
（初期のおりものや軽い下腹部の痛み程度）
のどの違和感、不正出血等

※その他、淋菌感染症、性器ヘルペス、尖圭コンジローマ、トリコモナス症などの性感染症があります。

性感染症予防のポイント

①コンドームを正しく使う

◆ 性行為のときは、**相手の精液・膣分泌液と自分の粘膜（性器や肛門、口腔）が直接接触しないよう、最初から最後までコンドームを確実に使用**してください。病気によっては、キス、オーラルセックス（口腔性交）やアナルセックス（肛門性交）などでも感染することがあります。

◆ 皮膚や口唇、のどなどの粘膜に異常がある場合は性的接触を控えましょう。

避妊薬（ピル）では、性感染症を予防できません！

②性的接触は特定のパートナーと

◆ **お互いに感染していない決まった相手とであればリスクは低くなります。**

確実に陰性が確認できている相手以外と性交渉する場合は、感染のリスクがあることを知っておきましょう

＜お問合せ先＞
○各保健所（検査・相談について）　○鳥取県感染症対策センター　0857-26-7857

県のホームページからもご確認いただけます。

STOP AIDS
エイズの理解と支援を示すレッドリボン

性感染症は、検査による早期発見・早期治療が重要です！

R8.11作成版